

事業番号	事務事業名	緑のふるさと協力隊推進事業費	所管課名	産業観光課	令和 3 年度課長名	小椋 正己
03736	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	林務係	担当者・シート作成者	柴田 和紀
	施策名	22 林業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	NPO法人地球緑化センターが主催する都市と田舎の交流事業で、活力を取り戻そうとする地方自治体に1年間住民として暮らしながら、ボランティアで地域の農作業や特産加工、各施設やイベントの手伝いなど、地域に密着した活動に取り組むプログラム。市町村合併により一時休止していたが、平成21年度から㈱未来奥津が受け入れを再開。平成26年度より鏡野町が事業主体となり、事業の運営については㈱未来奥津へ委託している。	平成7年度より、旧奥津町が実施していた事業。その当時、岡山市在住の方から奥津町で農業をしたいと新規就農の相談を受けており、外部の力を借りて農村過疎地域の活性化が出来ないかと模索していた時でもあり、偶然、林野庁の後援団体のPR広告、受け入れ先自治体の募集広告(新聞掲載)を見つけたことがこの事業に取り組むきっかけとなる。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 農山村の現状や暮らしに関心を持つ若者	ア 緑のふるさと協力隊隊員募集数	人	見込 実績	30 11	30 13	30 15	30	30
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 都市と農山村の交流促進	ア 町民人口	人	目標 実績 達成率	12,285 12,754 103.8%	12,143 12,625 104.0%	11,970 12,497 104.4%	11,800	11,627 107.5%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 農作業、観光施設手伝い、イベント補助等	ア 活動日数	日	目標 実績 達成率	250 258 103.2%	250 250 100.0%	250 250 100.0%	250	250 100.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		06 項 02		目 01		07		予算上の事業名					事業番号	
	一般会計		農林水産業費		林業費		林業総務費		緑のふるさと協力隊推進事業費						
1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	決算 (千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	03736		
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財						その他特財									
一般財源	7,441	7,921	7,921	7,921		一般財源	3,845	7,771	7,642	7,921	7,921	-129			
合計	7,441	7,921	7,921	7,921		合計(A)	3,845	7,771	7,642	7,921	7,921	-129			
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1				
	延べ業務事務時間						50	50	50	50	50				
	人件費計(千円)(B)						175	167	168	171	171	0			
	最終予算額		7,921 千円		予算執行率		96.4%		トータルコスト(A+B)		4,020	7,938	7,810	8,092	8,092
主な 支出事業内容 (予算)	旅費				100 千円		主な 支出事業内容 (決算)	旅費				0 千円			
	委託料				7,821 千円			委託料				7,642 千円			

事業番号	03736	事務事業名	緑のふるさと協力隊推進事業費	所管課名	産業観光課
------	-------	-------	----------------	------	-------

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
約10年前の隊員数は全国で50人を超えていたが、現在は10人~15人程度と減少している。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
平成26年度より市町村が受け入れているが、改善点は特にない。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
受入地域では隊員が来るのが楽しみだという声もあるが、協力隊事業に理解を得られず、何のために来ているのかという疑問の声もあり、賛否両論である。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	<b>理由説明</b> 都市と農山村の交流促進は、町の政策体系である地域経済を支える里づくりに結びついており、見直しの余地はない。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せるとはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<b>理由説明</b> この事業の受け入れが自治体となっているので町が行うのは妥当であり、また事業の運営については㈱未来奥津に委託しているの見直しの余地はない。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<b>理由説明</b> 「地方創生」が国の重要課題となり、外部人材の受け入れについて様々な取り組みがなされる中、この事業もその役割を担うことが期待されており、見直す余地はない。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	<b>理由説明</b> 市町村合併前の平成7年からこの事業を開始し、鏡野町に定住し活躍している隊員もいることから、目標水準には達している。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がない <input type="checkbox"/> 影響がある	<b>理由説明</b> 事業の運営については、㈱未来奥津に委託しており、町が事業を廃止した場合でも、㈱未来奥津が事業を継続すると思われるので影響はないと考える。
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	<b>理由説明</b> 緑のふるさと協力隊の活動後、総務省の地域おこし協力隊事業へ移行すれば、任期が3年間と長期的な活動を計画することができ、より成果の向上が見込まれる。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> (㈱未来奥津に事業委託しており、経費内訳をみても妥当であり削減の余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 事業は㈱未来奥津へ委託しているが、受入れ自治体として必要最小限の事務を職員1名で行っており、これ以上の削減はできない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	<b>理由説明</b> 農山村の現状や暮らしに関心を持つ若者を対象とし、その中から今年は2名の隊員を受け入れており、受益者負担は公平・公正である。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																						
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	令和3年度は2名の隊員を受入れ、活動拠点を隊員の居住地である富地域および上齋原地域に置いたが、町全体に活動範囲を広げようと町民と積極的な交流が図られていた。毎月発行している未来瓦版の協力隊便り(新聞折込)を楽しみに読んで下さる町民もおられ、協力隊の活動を知っていただく良いきっかけとなっている。鏡野町有線テレビによる取材の放映も功を奏している。今年度においては、1名の隊員が地域おこし協力隊へ応募し、受入が決定すれば地域おこし協力隊への移行は2例目となる。																						
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																						
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	<b>今後の改革改善案</b> 現在は㈱未来奥津に業務を委託しており、地域おこし協力隊が活動の内容や目的が明確で長期的な活動を計画することが出来るのに対し、緑のふるさと協力隊は若者を育てる人づくりのプログラムであるため、地域活性化や定住促進としての即戦力を期待するには、地域おこし協力隊へのスムーズな移行のための環境整備が必要である。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																								